

- 令和6年5月に新子馬巣谷橋で工事課題が発生。その後も状況が改善しないため、国は令和6年9月に開通予定と事業費の見直しを発表。
- 令和7年3月28日に、国から県に対し、見直し後の開通予定時期が令和11年春になると報告。
- 10月28日に、国から県に対し、精査した大野油坂道路の事業費が約450億円の増額になると報告。
- **11月11日に、国から県に対し、大野油坂道路の事業計画変更についての意見照会があり、これまでの国からの説明や11月18日の現場視察等を踏まえ、増額内容についてやむを得ないと判断。今後、県議会のご意見を踏まえた上で、意見照会に対する県の回答としたい。**
- 県からは、引き続き、国に対して、想定と異なる事象が確認された際の速やかな情報共有と、コスト縮減や国土強靱化予算の活用による地方負担の軽減および工程短縮の検討による一日も早い県内全線開通を求めていく。

## ■ 事業費の推移

(億円)

区 間	大野～荒島	荒島～九頭竜	九頭竜～油坂	全 体
開通予定	R5.3	荒島～勝原 R5.3 勝原～九頭竜 R5.10	<b>R11春</b>	
当初	203	523	595	1,321
H29.10	203	658 (+135)	649 (+54)	1,510 (+189)
R元.11	243	948 (+290)	1,119 (+470)	2,310 (+800)
R5.1	255 (+12)	1,083 (+135)	1,119	2,457 (+147)
R5.7 (現事業費)	255	1,083	1,509 (+390)	2,847 (+390)
<b>今回</b>	255	1,083	<b>1,959 (+450)</b>	<b>3,297 (+450)</b>

## ■ 事業費の増額の主な内容

(億円)

内 容		九頭竜～油坂 (R5.7増額)	九頭竜～油坂 (今回)
社会的要因	物価上昇による資機材及び労務費の増	+323	+51
工事内容 変更	新子馬巣谷橋の工事課題に伴うもの		+343
	国道158号斜面崩壊による通行止めの影響		+45
	トンネル施工中の湧水や切土工事の巨石対応等		+20
	商用電力の利用や発生土処分の見直し等		△9
	トンネル施工中の変状・変位への対応(補助工法の変更)	+23	
	橋梁基礎掘削の変更(土質区分の見直し(軟岩→硬岩))	+44	
計		+390	<b>+450</b>

## ■ 開通予定時期見直しの内容



## ■ 経緯と今後の流れ

時 期	項 目	備 考
R6年5月	工事課題の発生(新子馬巣谷橋 P1 橋脚ケーソン沈下不能)	
R6年9月6日	開通予定時期の見直し、事業費の精査が必要	第8回事業費等管理会議
<b>R7年3月28日</b>	<b>見直し後の開通予定時期の公表(3年間延長:R8年春→R11年春)(ただし半年程度の前倒しを検討)</b>	第11回事業費等管理会議
<b>R7年10月28日</b>	<b>事業費精査結果の公表(約450億円の増額)</b>	第12回事業費等管理会議
R7年11月1日	整備促進大会(国が進捗状況を説明)(予算確保、早期開通、地方負担の軽減を求める決議)	決議に基づきR7.11.12に国に要請
<b>R7年11月11日</b>	<b>事業評価委員会における意見照会(国→県)</b>	
<b>R7年11月18日</b>	<b>県議会現場視察(新子馬巣谷橋)</b>	R6.11.18、R7.6.26にも実施
R7年12月1日～	12月議会 開会(12/1)、代表質問(12/4)、一般質問(12/9～10)	
<b>R7年12月11日</b>	<b>事業評価委員会における意見回答(県→国)</b>	
<b>R7年12月15日</b>	<b>土木警察常任委員会、国の事業評価監視委員会</b>	

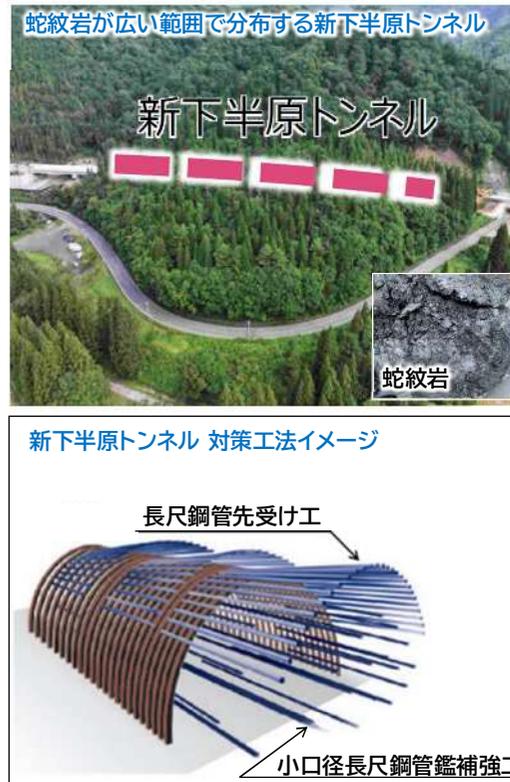
## ■ 事業費の増額について

### 《新子馬巣谷橋の工事課題に伴うもの》

#### ・ 新子馬巣谷橋の工事課題への対応



#### ・ 蛇紋岩に対する対応



#### ・ 施工計画見直し等



### 《国道158号斜面崩壊による通行止めの影響》



### 《トンネル施工中の湧水や切土工事の巨石対応等》

